

金沢赤とんぼ15周年(東京継承35周年)・20周年めざし原点返りで出発進行!



金沢赤とんぼの会

ニュース



2019年(令和元年)5月15日発行

その1

芹 洋子先生 5周年記念植樹 大島桜

15周年記念 第2号大島桜

11年目 初開花!!

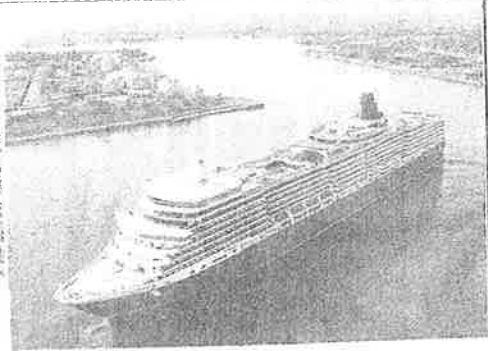
水淵 童謡唱歌の丘 すくすく!!



グリーンエリザベス号

金沢初入港

金沢港開港に 水淵 童謡唱歌の丘 柱状節理 埋立に大きく貢献



ちゅうじょうりょう(柱状)は、火成岩(火成岩)の「シラトコ」(柱状節理)「ヒストグラム」(柱状節理)と同じ。せつり(柱状節理)マダマが冷却固結する時に生ずる柱状の割れ目。多く岩脈(岩脈)・断層(断層)に生ずる。長原(長原)五式(五式)・前井(前井)東(東)等(等)などは火山岩(火山岩)に生じた柱状節理のためにできた奇跡(奇跡)。

金沢赤とんぼの運動をわかりやすく簡潔に解説 北國新聞〈舞台〉4月23日 夕刊

北賢二

金沢赤とんぼ童謡唱歌愛唱会
理事長兼事務局長

当会が2003(平成15)年、金大元学長の金大童政先生らの尽力により、石川県議会議長を務めた河口健吾先生を初代会長として結成され、昨年15周年を迎えました。

石川は加賀百万石の歴史と文化を持つのに加えて、全国でもまれな戦災に遭わなかった県です。童謡唱歌に歌われている日本の原風景が、現代もまた辛うじて残っている地と言えます。明治以降に作られた1万

舞台

歌の原風景の地から

6千曲もの童謡唱歌は一日の本の心であり、「日本の宝」ではないでしょうか。当会は現在、「歌いっぱい運動」と銘打った運動を繰り広げ、県民の愛唱歌300曲を選定しています。童謡唱歌を再評価し、歌い継ぐ動きを「原風景の地」石川から全国へ広げていきたいと考えています。温かて穏やかな文化香の「令和」の新时代、ささやかながらその建設の一翼を、歌を通じて担えたいと念じておします。

(金沢市)

裏面もご覧下さい

金沢赤とんぼ15周年(東京継承35周年)・20周年めざし原点返りで出発進行!



金沢赤とんぼの会

ニュース



2019年(令和元年)5月15日発行

その2

平成30年!! 赤とんぼ15年 令和新時代開こう!!

改元の頃を比べてみた

昭和→平成		平成→令和	
124万人/年	赤ちゃん	92万人/年	
8.6人に1人	65歳以上人口割合	3.6人に1人	
70.4キロ/年	1人当たりコメ消費量	54.2キロ/年	
1万6000店	コンビニ店舗数	5万7000店	
3071万台	乗用車	6158万台	
394万户	空き家	846万户	
男性 16万900円	大卒初任給	男女計 20万6700円	
女性 15万5600円			

※官公庁や業界団体の調べ

日本国憲法及び皇室典範特例法の定めるところにより、ここに皇位を継承しました。

この身に負った重責を思うと凛然たる思いがします。

願われば、上皇陛下には御即位より、三十年以上の長きにわたり、世界の平和と国民の幸せを願われ、いかなる時も国民と善業を共にされながら、その強い御心を御自身のお姿でお示しになりつつ、一つ一つのお務めに真摯に取り組んでまいりました。上皇陛下がお示しになった象徴としてのお姿に心からの敬意と感謝を申し上げます。

ここに、皇位を継承するに当たり、上皇陛下のこれまでの歩みに深く思いを致し、また、歴代の天皇のなごりようを心にこめ、自己の研鑽に励むとともに、常に国民を思い、国民に寄り添いながら、憲法にのっとり、日本国及び日本国民統合の象徴としての責務を果たすことを誓い、国民の幸せと國の一顧の発展、そして世界の平和を切に希望いたします。

お言葉全文「象徴としての責務果たす」

2019年(令和元年)5月2日 北 國 新 聞

県民愛唱歌 純1万曲

厳選300曲、11月に発表

金沢赤とんぼ童謡唱歌愛唱会は、令和の時代にも歌い継ぎたい「県民愛唱歌」を募集している。応募数1万曲を目標に一昨年から県内で広く呼び掛け、1日までに延べ約8千曲が集まった。1万曲から300曲を選んで令和初の文化の日となる11月3日に発表する。県でも例のない取り組みで、会員は、金沢から童謡唱歌を歌い継ぐ動きを広げていきたいと意気込んでいる。



「童謡唱歌の丘」で1万曲の募集へ意気込む北さん
—水沢町

赤とんぼの会は2003年、東京にある同名の会に在りて、水沢町には「童謡唱歌の丘」を整備。歌碑などを建て、ドゥンと発表。県内で毎年レミのつた。で知られる歌手愛唱大会を開き、厚川上流ののベギー葉山さん、NHKラ

赤とんぼの会が募集「全国のモデルに」

「歌のおばさん」に長年出版した安西琴子さんを招いて植樹を実施してきた。愛唱歌募集は、07年に文化庁が全国公募して発表した「日本の歌百選」をモデルにした。17年4月、文化庁に「百選を拡大して300曲を選ぶ事業を」と要請した際、文化庁側から「石川で独自に取り組んでみてはどうか」と逆に提案を受け、募集を始めた。

応募曲のジャンルは不問で、1人10曲まで受け付けている。5月までに1万曲を集め、9月頃までに童謡100曲、唱歌100曲、その他100曲の計300曲を選ぶ。推薦数のほか、石川とのゆかりなどを選定の基準にする。11月3日に開く愛唱大会で発表し、書籍や冊子にまとめることも検討している。

1万曲の目標まであと一息となり、会員は童謡唱歌の丘の地元である辰田町や米町の住民にもチラシを配って、応募を呼び掛けている。理事長兼事務局長の北賢二さん(79)辰田町は「戦災に遭っていない金沢は、童謡唱歌に歌われる日本の原風景が多く残っている。募集運動を全国のモデルにしたい」と語った。

裏面もご覧下さい